

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第3区分
【発行日】平成26年7月31日(2014.7.31)

【公開番号】特開2013-25641(P2013-25641A)
【公開日】平成25年2月4日(2013.2.4)
【年通号数】公開・登録公報2013-006
【出願番号】特願2011-161363(P2011-161363)
【国際特許分類】

G 0 6 F 1/26 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 1/00 3 3 4 C

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月12日(2014.6.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の処理を行う情報処理装置であって、
外部装置と無線通信を行う通信手段と、
前記通信手段の動作を制御する第1の処理手段と、
前記情報処理装置の動作を制御して、前記所定の処理を実行する第2の処理手段と、
前記通信手段の電源をオンまたはオフにする電源手段とを有し、
前記第2の処理手段が前記所定の処理を実行中であるか否かを前記第1の処理手段が前記第2の処理手段に確認し、当該確認の結果、前記第2の処理手段が前記所定の処理を実行中でない場合に、前記電源手段は前記通信手段の電源をオフにする
ことを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

前記第2の処理手段が前記所定の処理を実行中でない場合に、前記通信手段の電源をオフにしてよいか否かをユーザに確認する確認手段を更に有し、
前記電源手段は、前記確認手段により前記電源をオフにしてよいことが確認できた場合に、前記通信手段の電源をオフにする
ことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記電源手段は、前記通信手段の電源をオフにした後に、前記第2の処理手段の電源をオフにすることを特徴とする請求項1または2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記電源手段は、前記第2の処理手段の電源をオフにした後に、前記第1の処理手段の電源をオフにすることを特徴とする請求項3に記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記通信手段が所定の起動パケットを受信すると、前記第1の処理手段が起動することを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項6】

前記通信手段により前記所定の起動パケットが所定時間受信されない場合に、前記第2の処理手段が前記所定の処理を実行中であるか否かを前記第1の処理手段が前記第2の処理手段に確認することを特徴とする請求項5に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記通信手段による前記外部装置との通信状況に基づいて、前記第 2 の処理手段が前記所定の処理を実行中であるか否かを前記第 1 の処理手段が前記第 2 の処理手段に確認することを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記情報処理装置は印刷機能を有する印刷装置であり、

前記所定の処理は、印刷処理であることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記情報処理装置は撮像機能を有する撮像装置であり、

前記所定の処理は、撮像処理であることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

外部装置と無線通信を行う通信手段を備え、 所定の処理を行う情報処理装置の制御方法であって、

前記通信手段の動作を制御する第 1 の処理工程と、

前記情報処理装置の動作を制御して、前記所定の処理を実行する第 2 の処理工程と、

前記通信手段の電源をオンまたはオフにする電源制御工程と、を有し、

前記第 2 の処理工程で前記所定の処理を実行中であるか否かを確認し、当該確認の結果、前記第 2 の処理工程で前記所定の処理を実行中でない場合に、前記電源制御工程で前記通信手段の電源をオフにする

ことを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の情報処理装置の制御方法の各工程をコンピュータに実行させるためのプログラム。